

呉自社商品開発協議会

新規事業開拓グループ

令和2年度総会資料

発表者:

佐藤技術サポート

リーダー 佐藤 正美

R3. 5. 21

グループの目的

技術分野, 業種を問わず, 自社及びグループ会員共通の短期・中期的で実現可能な事業化テーマについて, 必要に応じてビジネスプランを作成して, グループ会員の新規事業創出を図り、新たな実践グループを生み出す。

令和2年度活動実績(定例会)

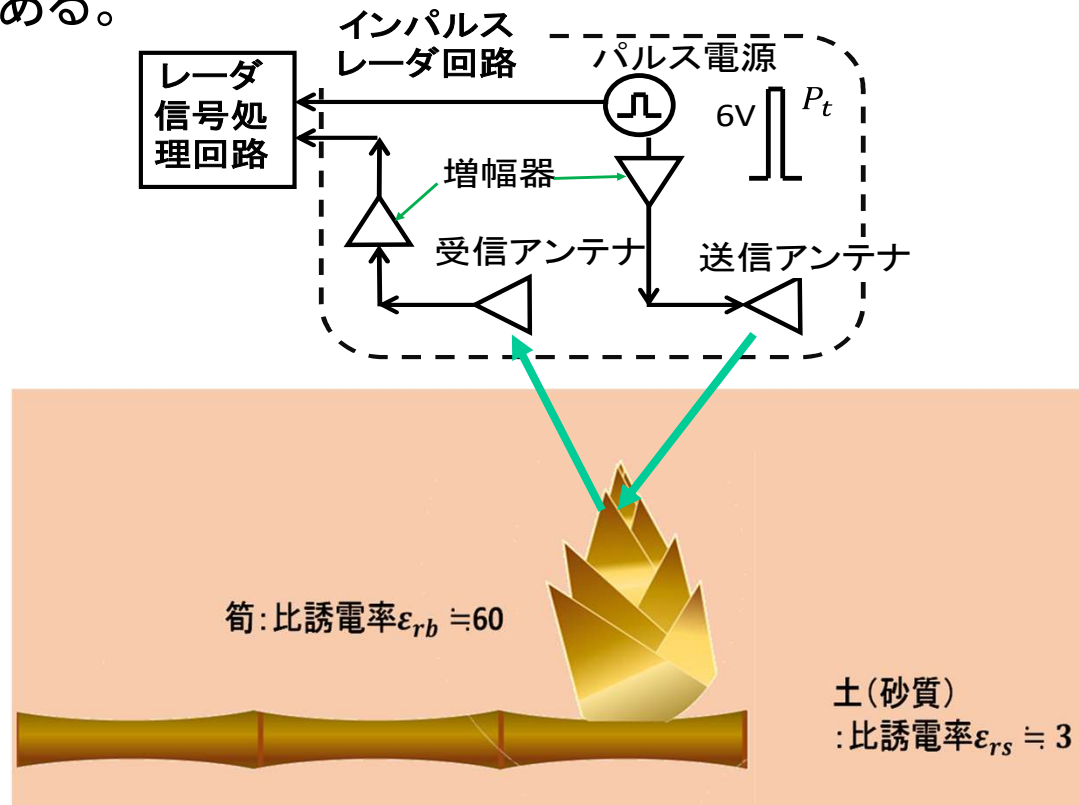
No	日時	議事	参加者	備考
1		第1回グループ会議(4月度)		コロナ禍により中止とした
2		第2回グループ会議(5月度)		コロナ禍により中止とした
3				
4	R2. 6.12(金) 15:00~19:30 オークアリーナ	第3回グループ会議(6月度) ・新タケノコセンサー開発 ・アイデアコンテスト事業化審議・情報交換	11名	
5	R2. 7.10(金) 15:00~19:30 オークアリーナ	第4回グループ会議(7月度) ・アイデアコンテスト事業化審議 ・新規事業案件検討 ・情報交換	11名	
6	R2. 8.21(金) 18:00~19:50 オークアリーナ	第5回グループ会議(8月度) ・役員会報告 ・医療ニーズ事業化検討 ・アイデアコンテスト事業化審議 ・情報交換	12名	
7	R2. 9.11(金) 18:00~19:30 オークアリーナ	第6回グループ会議(9月度) ・新規事業案件検討 ・簡易懸濁法器具検討 アイデアコンテスト事業化検討 ・情報交換	8名	
8	R2.10.9(金) 18:00~19:30 オークアリーナ	第7回グループ会議(10月度) ・役員会報告 ・シートタイプ体重計の調査報告 ・怪我部の防水保護の検討 ・情報交換	9名	
9	R2. 11.13(金) 18:00~19:30 オークアリーナ	第8回グループ会議(11月度) ・新規事業案件検討 ・タケノコセンサー進捗報告 ・情報交換	9名	
10	R2.12.11(金) 18:00~19:30 オークアリーナ	第9回グループ会議(12月度) ・役員会報告 ・新規事業案件検討 ・情報交換	9名	
11	R2. 1.8(金) 18:00~18:30 オークアリーナ	第10回グループ会議(1月度) ・新規事業案件検討 ・20のイノベーション勉強会 ・情報交換	11名	
12	R2. 2.12(金) 18:00~19:50 オークアリーナ	第11回グループ会議(2月度) ・役員会報告 ・介護ロボットの現状調査 ・会員によるクラウドファンディング実例報告 ・情報交換	12名	
13	R2. 3.12(金) 18:00~19:30 オークアリーナ	第12回グループ会議(3月度) ・令和2年度活動実績まとめ案協議 ・新規事業案件検討 ・自動車リサイクルの現状と将来勉強会 ・情報交換	名	

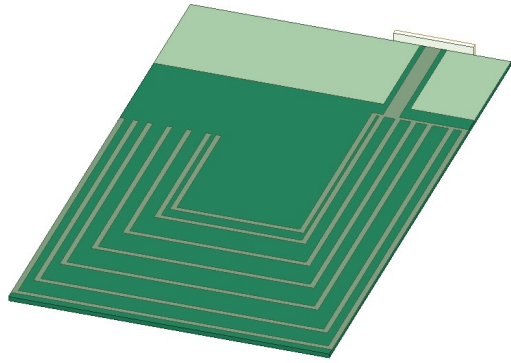
令和2年度活動実績

テーマ推進事項

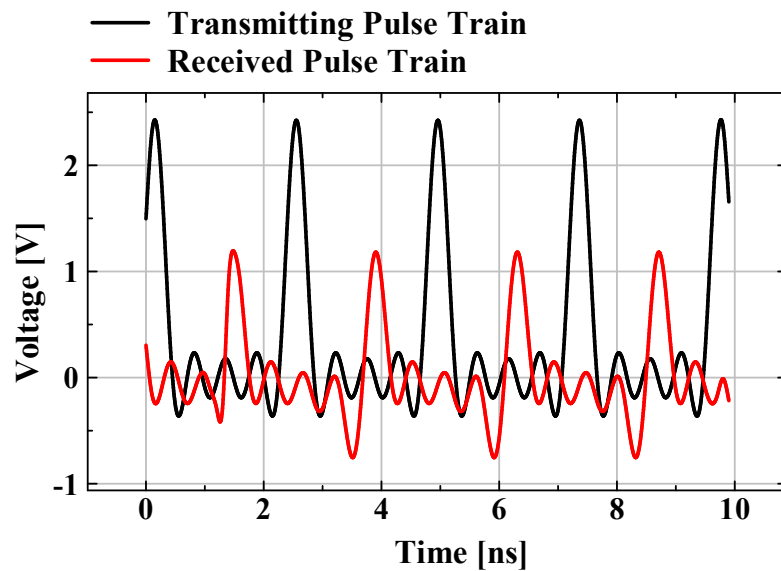
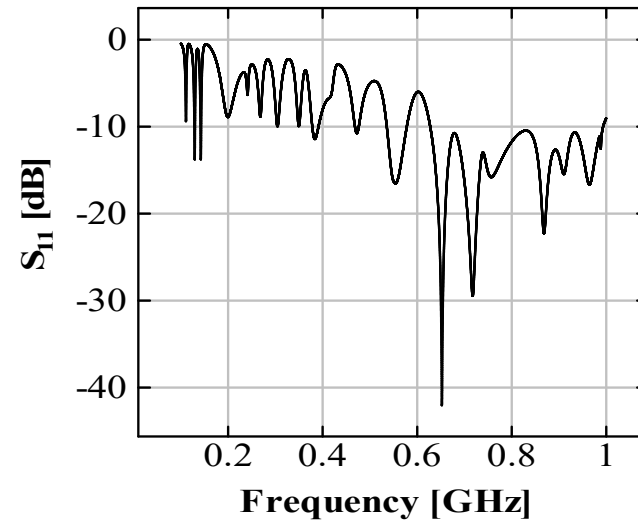
① タケノコセンサーの開発

前年度の結果から、さらにセンサーの感度を高めた新たなシステムの開発を進めた。新たなシステムはパルスレーダー方式でより深く、より正確に検知できるもので、今年度中に実験を終え、事業化に向けて進める予定である。





アンテナと周波数特性



試作した本機外観

② 小鳥の餌箱クリーナー

グループメンバーからアイデアコンテスト試作賞の試作品の提示があり商品化に向けて検討を行った。

小鳥の餌箱には飼料と飼料の殻が混在しており、各自工夫して掃除をしているが毎日のことであり大変である。自動で飼料と殻を分離するものは市場に無いことから新たな販路が期待できると思われる。



試作した小鳥の餌箱クリーナー

実用新案登録 第3230770

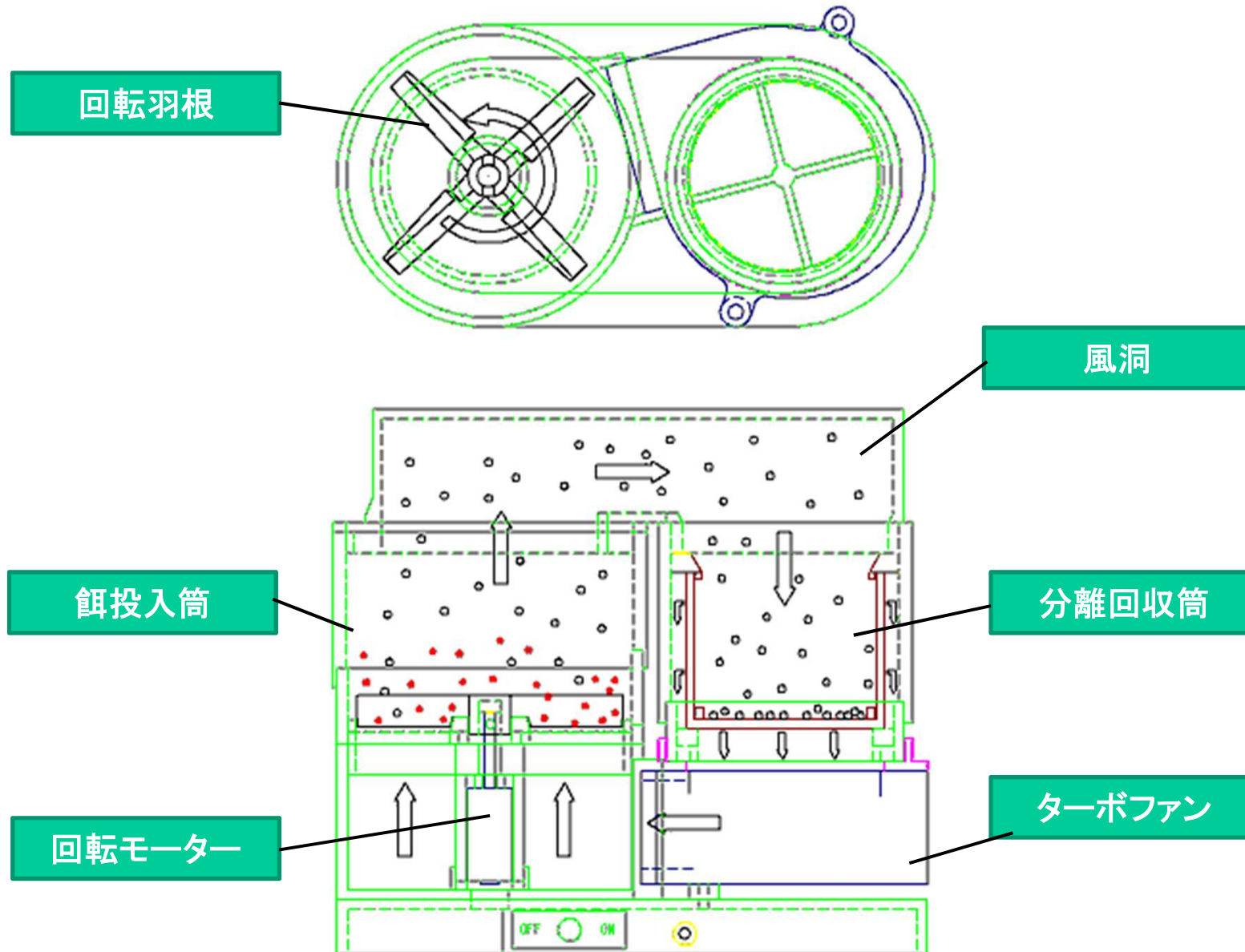
食べかす



分離した殻



クリーナーの原理



③ アイデアコンテスト事業化検討

2019年度のアイデアコンテストで選出されたアイデアの中で事業化可能性の高い案件を抽出して事業化の可能性に向けた検討を行った。

ふんばり棒、洗濯物の乾き状態を知らせる洗濯バサミ、ギブスカバー、自動で混ざるマグカップなどを抽出し検討を行った。
これらの案件については、市場性や技術要素を踏まえ引き続き次年度も検討を進める。

④ 医療ニーズにおける事業化検討

医療ニーズから「簡易懸濁法器具(薬を飲み易くするため、温水に溶かす)」やバスタブを含めて体重を測るための「シート状体重計」、「介護ロボット等の検討を行った。

○簡易懸濁法については、医師に問い合わせたところ在宅療養では使用せず病院で使うがあまり必要性はないとのことであった。

○シート状体重計については介護施設の訪問介護では使用しないので不要との回答であった。

いずれも、ニーズは少ないと判断した。

介護ロボットについては用途が多義にわたるので、目的を絞る必要があり、次年度の継続審議事項とする。

⑤ コロナ関連のツール検討

コロナ禍のなか、様々な商品が出回っているが、その中で市場に無いと思われるものについて検討を行った。

「殺菌できるドアノブ」、「紫外線による殺菌ボックス」、「トルネード式殺菌空気清浄器」等の提案があり、今後市場調査をして事業化の可能性を検討する。

令和2年度 まとめ

令和2年度はコロナの関係で定例会の中止や恒例の行事としている先進企業訪問も未実施となり、十分な活動ができなかった。グループメンバーはコロナ禍のなか、多数集まって4部門のテーマについて鋭意協議を重ねた。

タケノコセンサーについては今後現地実験等を行って具現化する。小鳥の餌箱クリーナーは成形金型費を踏まえた原価を調査し、商品化を目指す。その他には具体的に商品化に結び付くまでの検討は得られていない。しかし、今後検討すべき多くの案件について、メンバー各位のものづくりに対する情熱と知見、技術力で成果をもたらしたい。

令和3年度 活動計画

- ①先進情報の収集・情報交換
- ②シーズの具現化
特許、研究開発成果等の活用
- ③ニーズの発掘
外に出かけて現場の意見・提案を聞く
- ④継続審議事項の推進
- ⑤マーケットリサーチを重点にした新規事業の推進
- ⑥メンバー各社の抱える課題を持ち寄り検討、討議
- ⑦先進企業訪問
- ⑧講演会・セミナー等の開催
- ⑨他のKITグループへ積極的交流